

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和7年3月11日(2025.3.11)

【公開番号】特開2023-135810(P2023-135810A)

【公開日】令和5年9月29日(2023.9.29)

【年通号数】公開公報(特許)2023-184

【出願番号】特願2022-41090(P2022-41090)

【国際特許分類】

G 04 B 19/06(2006.01)

10

B 05 D 1/36(2006.01)

B 05 D 1/26(2006.01)

B 05 D 7/00(2006.01)

G 04 B 19/10(2006.01)

G 04 B 45/00(2006.01)

【F I】

G 04 B 19/06 M

B 05 D 1/36 Z

B 05 D 1/26 Z

B 05 D 7/00 K

20

G 04 B 19/10

G 04 B 45/00 V

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月3日(2025.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

時計用部品の基材に第1模様を形成して下地とする下地形成工程と、

前記基材の表面に透光性の樹脂を用いて第1透光層を形成する第1透光層形成工程と、

前記第1透光層の表面に撥液処理を行う第1撥液処理工程と、

前記撥液処理が行われた前記第1透光層の表面にインクジェット方式でインクを吐出して前記第1模様に重ねて第2模様を印刷して第1印刷層を形成する第1印刷層形成工程と、

を備えることを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項2】

40

請求項1に記載の時計用部品の加飾方法において、

前記第1透光層形成工程は、前記透光性の樹脂をインクジェット方式で吐出して前記第1透光層を形成することを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の時計用部品の加飾方法において、

前記第1印刷層の表面に透光性の樹脂を積層して第2透光層を形成する第2透光層形成工程をさらに備えることを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項4】

請求項3に記載の時計用部品の加飾方法において、

前記第2透光層の表面に撥液処理を行う第2撥液処理工程と、

50

前記撥液処理が行われた前記第2透光層の表面にインクジェット方式でインクを吐出して第3模様を印刷して第2印刷層を形成する第2印刷層形成工程と、
をさらに備えることを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項5】

請求項1から請求項4のいずれか一項に記載の時計用部品の加飾方法において、
前記第1透光層の透光性の樹脂は、アクリル樹脂またはエポキシ樹脂を含む樹脂であること特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項6】

表面に第1模様が形成された基材と、
前記基材の表面に透光性の樹脂により形成された第1透光層と、
前記第1透光層の表面に形成された第1撥液層と、
前記第1撥液層の表面に前記第1模様に重ねて形成され、インクジェット方式で吐出されたインクのドットにより第2模様が形成された第1印刷層と、
を備えることを特徴とする時計用部品。

【請求項7】

請求項6に記載の時計用部品において、
前記インクは、銀ナノ微粒子インクであることを特徴とする時計用部品。

【請求項8】

請求項6に記載の時計用部品において、
前記インクは、透過性を有する酸化チタンインクであることを特徴とする時計用部品。 20

【請求項9】

請求項6から請求項8のいずれか一項に記載の時計用部品において、
前記インクのドットの間隔は、前記ドットの直径の1倍より大きく3倍より小さいことを特徴とする時計用部品。

【請求項10】

請求項6から請求項9のいずれか一項に記載の時計用部品において、
前記基材の前記第1模様は、前記基材の表面が加工されることで形成された凹凸であること特徴とする時計用部品。

【請求項11】

請求項6から請求項10のいずれか一項に記載の時計用部品において、
前記第1撥液層が形成される前記第1透光層の表面には、親液処理が施されていることを特徴とする時計用部品。 30

【請求項12】

請求項6から請求項11のいずれか一項に記載の時計用部品において、
前記第1印刷層の表面に透光性の樹脂により形成した第2透光層をさらに備えることを特徴とする時計用部品。

【請求項13】

請求項12に記載の時計用部品において、
前記第2透光層の表面に形成された第2撥液層と、
前記第2撥液層の表面に形成され、インクジェット方式で吐出されたインクのドットにより第3模様が形成された第2印刷層と、
をさらに備え、 40

前記基材の前記第1模様、前記第1印刷層の前記第2模様、および前記第2印刷層の前記第3模様は、互いに重なり合っていることを特徴とする時計用部品。

【請求項14】

請求項13に記載の時計用部品において、
前記第2印刷層の表面には、透光性の樹脂が積層されていることを特徴とする時計用部品。

【請求項15】

請求項13または請求項14に記載の時計用部品において、 50

前記第2撥液層が形成される前記第2透光層の表面には、親液処理が施されていることを特徴とする時計用部品。

【請求項16】

請求項6から請求項15のいずれか一項に記載の時計用部品を備えることを特徴とする時計。

10

20

30

40

50